

令和4年度金沢大学入学者選抜試験

薬学類・高大院接続入試試験問題

小論文

[医薬保健学域薬学類]

(注意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文1ページです。答案用紙は1枚です。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに記入しなさい。
- 4 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

人類と感染症との関わりは古く、現在も治療法のない感染症があり、また新たな感染症が出現することも間違いないため、将来にわたって感染症にどう対応するかは大事な課題です。これまで、感染症対策として治療薬やワクチンの開発、および公衆衛生上の改善などが行われてきました。中でもワクチン接種は、一部の感染症を絶滅させたり、重症化を予防したりするなど、感染症対策として有効です。しかし、ワクチン接種は副反応のリスクがあることから敬遠されることもあります。一方、特にヒト間で感染する感染症においては、集団全体がワクチン接種を行わなければ罹患リスクは減少しないと言われていています。実際に、COVID-19 感染症対策としてワクチン接種を強制する集団が世界的にはあります（ワクチン未接種の人は会社や学校等建物内への出入りを禁ずるなど）。したがって、ワクチン接種については個人の判断と集団としての対応が必ずしも一致しない場合があるのが現状です。

そこで、COVID-19 感染症のまん延と対策の経験をふまえて、ワクチン接種をある集団に属する個人に強制することに対するあなたの考えを述べるとともに、将来あなたが薬剤師資格と博士号を持つ薬学研究者となった時に、新たな感染症リスクや治療法のない既存の感染症を抱える社会に対してどのように貢献したいかを 800 字以内で述べなさい。ただし、アルファベットや数字も 1 文字とします。なお、ワクチン接種に対するあなた自身の賛否は採点には影響しません。